

第 19 回畜産版 5S 研究会

(一般的 5S=整理、整頓、清潔、掃除、しつけ)

日 時： 平成 28 年 1 月 28 日 (木) 15:00~16:45
場 所： サンデンフォレスト森の教室
参加予定者： 林 邦雄 (林牧場)、林 丈志 (林牧場)、関上 (前橋市農林課)、石関 (獣
医師)、渡辺 (獣医師)、飯塚登志 (NPO 法人ぐんまテクノサポーターズ)、
奥野 博邦 (元サンデン 5S 担当者)、台 (サンデン)、小林 (事務局)

議 事 録 (案)

参加者紹介

挨拶：会長 林 邦雄

畜産生品が高くなっている。理由は米国で鳥インフルエンザの蔓延からブロイラーが極端に不足し、これに引っ張られて豚の値段が上がり、続いて牛も値上がりしている。牛の値上がりの大きな理由の一つとして、廃業が続いているため子牛の生産が少なく高騰していることがある。国内ではこの値上がり状況下でも新規参入は無い、理由は PPT などによる先行きの不安材料があるためである。しかし設備投資が廉価なブロイラーは増えてきている。

飼料の状況は国際的に穀物が大豊作で南米等の輸出は増大している。

これは穀物生産に対し近年品種改良や肥料の品質改良が進んだためである。

トウモロコシの 1t 当たり高値時は 40,000 円していたが現在 26,000 円/1t である。畜産生品が高く飼料価格が低い状況で生産には良い状態であるが、農業従事者の高齢化などで堆肥の消費が減っていて、畜産の先行きに大きな課題となっている。PPT と併せて先が見えない不安がある。

議 題：

1、 第 18 回畜産版 5S 研究会のレビュー

資料：議事録

事務局による朗読説明後 2 点の修正指摘を受け、承認された。(コンテスト 11 回→12 回、韓国→京都)

2、 畜産版 5S 活動その後の取り組みについて経過報告

・林 牧場の取り組み、他について (林 丈志)

第 13 回の 5S コンテストは安全性管理に取り組んだ。

5S コンテストは 16 チームで継続実施しているが、最近の優勝チームは 3 回連続優勝している。問題の原因発見や対策実施に向けてチームとして自主的に計画を立案し実施している。

5S 安全対策実施表

危険の見える化シート：文章と絵、写真

ヒヤリハット

5S タイム (毎週)

PPT による解説

- ・サミットベテリナリーサービス管轄の取り組みについて (石関)

奥野さん提案の仕事の5S、品質の5S、等の改善提案を畜産版に読み替えた資料をもとに講演を実施した。

PPT による解説

3、 5S のパート2 仕事の5S、品質の5S、等 (奥野)

「5Sを道具に人間を育てる」

林さん、石関さんの発言を捉えて

月間改善計画は上旬、中旬、下旬に分けて立て、チェックしていく。

チームのリーダーの問題摘出能力、や着眼点、がキー

チームに改善活動できる人が何人いるかや作業者のスキル

優先順位

テーマの選定

選び方

会社への貢献度

改善可能か否か

お金の問題、評価項目

先進事例見学として奥野さん指導の下、サンデン赤城事業所の見学を実施する。

4、 前橋市と産業支援機構で話し合って実施する、意欲のある方対象の5S

勉強会について、状況報告等 (中野)

1 1月に8名対象に、JA大胡で林丈志さんを講師に実施した。

1月29日にJA大胡で石関さんを講師に実施する。

5、 その他 フリートーキング

渡辺さん：5Sタイムの時間についての認識

台さん：平成28年度中に2回程度、林牧場、サミットベテリナリーサービス対象に先進地事例視察として、サンデンフォレストで実施する改善活動のイベントにお招きする計画をたてる。

事務局：実施している畜産版5Sの勉強会に参加している方に5Sは儲かるを実感して頂くような努力、仕掛けを実施していきたい。

(次回の日程)

日 時：平成28年5月26日(水) 15:00~17:00

場 所：サンデンフォレスト 森の教室